


砂丘

発行：独立行政法人 国立病院機構

 鳥取医療センター

発行責任者：下田 光太郎

理念

1. 人類愛に基づく、質の高い医療を提供する。
2. 患者本位の医療体制を確立し、十分な説明と同意の下に、自由意志を尊重し、人としての尊厳を守る。
3. あらゆる情報の公開に努め、医療人としての自己研鑽に努める。

新しくお迎えしました。

診療の充実を図るため新しく2名の医師をお迎えしました。



山本 光信 呼吸器科医長
診療科 呼吸器内科
出身校 鳥取大学医学部
鳥取大学医学部大学院医学研究科
資格等 日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定内科専門医
日本医師会認定産業医



岩田 康裕 内科医師
診療科 精神科における内科合併症
出身校 鳥取大学医学部卒業
資格等 日本医師会認定産業医

● 瑞宝章を受けて ●

元看護部長 高山民子



平成20年5月13日 東京は雨天。勲章を胸に皇居にて天皇陛下よりお言葉を頂いて帰ってまいりました。この辺りまでは実際のところ大した感情の変化はなく、何となく流れに乗ってという感じで受け止めていました。

ところが、その後も続く国会議員や多方面から次々届く祝電や祝辞に、驚きと戸惑いの日々が始まり、あらためて瑞宝章と自分について真剣に考えてみることになりました。

まず、「瑞宝章」とは何なのか調べてみることから始めました。

辞書によると「社会・公共に多年に尽くしたと認められる功労者に与えられる」と書かれてありました。さて自分とは問うと、「多年尽くした」という点では、定年より1年早く辞めはしたものの38年間、2回の産休以外は元気が取り柄で殆ど休むことなく無事勤めさせていただいたのでまあ合格。「公共に尽くした」の点は確かに殆ど(途中から独立行政法人) 国立の病院で国家公務員として働かせていただいたのでこれも合格でしょうか。

「社会に尽くした」ここの点では悩みました。私が社会に何らかの影響を及ぼすことが出来たとするならばそれは看護の仕事しかありません。ただひたすら看護を行ってきただけなのですが、その中で自分に勲章が許されるとするならばただ一つ看護に対する“思い”の部分でしょうか。障害児の看護を夢見て飛び込んだ世界です。その後いろいろ

るな経験をさせていただき、最期に鳥取医療センターで再び原点にもどることが出来ました。

その間、1度も看護師を辞めたいと思った事はなく、いつもよりよい看護への夢を持ち続けて来ました。今でも生まれ変わっても看護師になりたいと思うこの看護への熱い“思い”でしょうか。

そして、私が夢を追い求め続けられたのは、ある時は子供を、ある時は親をも忘れてしまう位、安心して働かせてくれた私の家族たち。また、その夢を叶えさせてもらったのは理解ある上司であり、同僚であり、スタッフ達のおかげです。それら多くの人々に支えられての今回の授賞だと考えると改めて、とても重く感謝の思いで、ありがたく受け止めることが出来ました。

6月21日には思い出いっぱいの鳥取の地で祝賀会を催していただきました。大変光栄で喜びと感動の時を嬉しくまた懐かしく過ごさせていただきました。本当に有り難うございました。

あの日現役の人たちの輝く瞳を見ていると自分の年齢を少し恨めしくも思ったものです。

今日(7月6日)私は、97歳を迎えようとしている日野原重明先生のご講演を聴かせていただき大いに刺激を頂きました。先生の言われる年による変化を楽しみながらこれからの人生を過ごしていこうと思います。

鳥取医療センターの発展を広島の地から祈りつつ……。



●「平成20年度 中国四国ブロック管内医療安全対策研修会I」を受講して●



12病棟 花 倉 由 紀
8病棟 田 中 英 美

平成20年6月23日から27日にかけて行われた研修に参加しました。東広島医療センターに隣接する機構本部中国四国ブロック事務所の研修室で5日間にわたり、安全管理に関する講義やグループ討議を行いました。参加者は42名。看護師長を中心に医師、放射線科技師、薬剤科長、作業療法士など、多くの職種が集まりました。

東大准教授の前田先生より、リスクマネジメント総論というテーマで講義を聴きました。いくら注意していたとしても、また、当事者に過失があっても無くても、医療行為に伴って想定外の事象、つまり医療事故は起きてしまう。しかし起きてしまったときにどれだけ素早く適切に対応できるか、さらには、対応するための準備や手段を持っているかを問われ、大きな課題をいただいたと感じています。また、よく聞かれる言葉になってきたと思いますが、「インフォームドコンセント」にしても、十分な説明を尽くしたか、患者様は説明を理解し判断した上で同意したのかなど、改めて「説明」や「同意」の意味を学ぶ事ができました。

他にも、「医療安全管理者の役割」、「事故発生時の対応」、危険予知能力やコミュニケーション能力についてなど、それぞれの施設で安全管理を担当している方々から講義をいただく事ができ、果たして、自分が医療安全の役割を担うにはどれほどの努力がいるだろうかと心配にもなりました。

研修の後半は、提示された事例を元に、いろいろな分析方法を用いて、問題点は何か、改善するには何を行ったらいいのかをグループワークにて検討しました。事例のテーマは「誤薬」「酸素供給の遮断」「麻酔剤急速投与」「胃管カテーテル誤挿入」「点滴チューブと腹腔内チューブの誤接続」

というものでした。施設によっては身近に起きにくいテーマであったり、逆に該当する病院のスタッフが研修に出席していて非常に詳細な状況が分かったりということもありました。しかし、各事例を与えられたグループそれぞれが真剣に内容に向き合い、ミスを起こしてしまうまでの経緯にどんなリスクファクターが潜んでいたのか、また、発見されてからの対応は適切であったのか、どんな対策を立てることで事例のようなミスを防ぐことができるか、話し合っていました。グループごとに違うパターンの分析方法を用い、同じ事例を分析し、最終日には発表を行いました。日常的にはなかなか時間をかけて一つの事例に取り組むと言うことが難しいのですが、きちんと分析方法を学び、十分に時間をかけて問題点を検討していくと、普段、見落としがちな病院や病棟のシステムの不都合や、無関係とされていた人物や物事が重要なポイントであったことなど、それぞれのグループから意見として出てきていました。

私たちは、人間である以上、絶対と言うことはあり得ず、ミスをするという大前提の元で働いています。しかし、日々の業務の中で、起座位の工夫にしても、手順にしても、1つずつでも落とし穴を減らしたり、もしもミスをしてしまった時、ミスに気付いた時に何よりも患者様の安全を守ることができるような対応の手段を手に入れておくことはとても重要であると言えます。これからも意識して医療安全に取り組んでいこうと考えています。

● 看護の日の行

5月12日の看護の日に先駆けて、5月10日（土）にケーズデンキ本店前において、看護の日の院外行事を開催しました。今年で3回目になる院外行事ですが、実行委員会及びボランティア職員と病院職員が一丸となり、健康・服薬・栄養相談をはじめ、身長・体重・体脂肪測定、血圧測定、ストレスチェック、病院のPRのための風船・救急絆創膏の配布といった内容で行ないました。当日はあいにくの

ストレスは・・・
いかがですか？



緊張するな～

天候でしたが、看護師募集のプラカードを持って病院のPRをしたり、通りすがりの方々に来場依頼を行いました。来場者数は昨年に比べ少なかったのですが、救急絆創膏500枚は、あっという間になくなり、風船も子供連れのご家族に配布することができました。

また、雨降りの中、参加への声かけに気軽にに応じてくださった方は、ストレスチェックをされ、興味深そうに結果を見て、医師の相談を受けられていました。中には、熱心

○ 「お父さん・お母さんは看護師さん」 ○

絵画の展示を終えて

5病棟 前川 奈津美

今年も！看護の日のイベントとして「お父さんお母さんは看護師さん」というタイトルで多くの絵画を描いていただきました。ひとつひとつの絵画が個性豊かで、ニコニコとした暖かい表情の絵が病院を飾りました。絵画に描いてあるような素敵な笑顔で、今後も病院を盛り立てていきたいと思っています。

12病棟 福本 仁美

私たちは、看護の日で絵を募集しました。たくさんの絵が集まり、子供さんが一生懸命書かれた様子がわかるようなどれもすてきな作品でした。絵は売店前に一週間展示しました。絵を描いてもらったお礼は、寄付を募って集まったお金でかわいいディズニーの袋におもちゃ・色鉛筆を入れて渡し、とても好評でした。絵の募集やお礼のプレゼント等の準備は大変でしたが、協力していただいた方々より喜びの言葉を頂き、がんばって良かったなと感じました。



事を開催して

看護の日実行委員会 委員長 清水 須美子

に医師の指導を受けておられる方もいらっしゃり、「気をつけんといけんなあ。ありがとうございました。」と笑顔で帰られていました。

更に、当日偶然にも石破防衛大臣もおいでになり、ストレスチェックをされ、医師・看護師不足についてもお話し

させていただくこともできました。

実施に当たり、多くの方々のご協力および、雨にもかかわらずおいでくださった方々に感謝しています。ありがとうございました。



看護師募集
してま〜す



動脈硬化は・・・
北恵先生

看護の日イベントを終えて

13病棟 酒井 悠 佑

私は昨年から参加し、今年は2回目でした。今年は生憎の雨模様で、イベントに来てくださった方の数も昨年に比べて少なかったのが少し残念でした。それでも足を運んでくださった方々やボランティアとして参加してくださったスタッフのおかげで、今年も良いイベントになったと思います。また今年は2回目ということもあり、新人のスタッフにアドバイスができたので、少し成長した自分に喜びを感じました。来年は今年の反省も活かし、より良いイベントにしていけたらと思います。

7病棟 酒井 美 穂

看護の日のイベントはあいにくの雨の中実施されました。ショッピングモールで買い物を終えた客は、雨や寒さのせいか足早に車へと帰ってしまうため、健康チェックに来てくださる人は去年よりは少なかったように感じました。しかし、病院の名前の入った風船や絆創膏はたくさんの人に配ることができました。今回のイベントで参加者の健康意識の向上や、病院のことを多くの人に知ってもらう機会になったと思います。



● 地震防火避難訓練 ●

庶務班長 田 中 信 義

4月30日14時よりマグニチュード6.5を想定した地震防火避難訓練を実施しました。地震は10秒程度続きその後、12病棟（精神解放）の喫煙室から出火するという想定でした。



地震発生の場合と共に机の下に潜り、地震が収まるのを待ち、事務所内の安全の確認をしているところへ

火災警報の発報があり、病棟からの火災通報を受けて本部の設営に当たりました。54歳の老骨には事務所から本部設営地点までの下り坂は恐怖であり、足はもつれる息は上がるの状態で、日頃の不摂生を悔やむばかりでした。

避難はスムーズに行われ、12病棟の患者様全員の無事が確認され、他病棟の患者様の確認もスムーズに行われたのですが、ある病棟では本当



に患者様の所在が確認できずに、探し回っていて報告が遅れたというハプニングもありましたが、火災は14時9分に無事鎮火しました。

消火器を使用した消火訓練の後、起震車（グラットくん）による地震体験が行われ、参加者のほとんどが地震を体験しました。特に、震度6の揺れに対する若い看護師の黄色い悲鳴には地震体験にもかかわらず救出に向かおうとする男性職員もいたのですが、看護部長を筆頭とする「何があっても物事に動じない」と思われるグループの悲鳴はことさら大きく全員驚きの表情で体が固まっておりました。

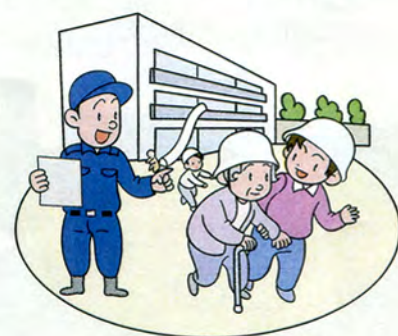
今回の湖山消防署の講評は下記のとおりです。



講 評

避難の状況から見させて戴きました。避難までの行動はテキパキとなされ非常に良かったと思います。しかし、避難後の処置は不十分ではなかったかと思えます。患者さんを避難させた後は安心しボーとしていた職員が見受けられました。この点を検討して今後の訓練に活かしてください。

本日は地震後に火災発生という想定でしたが、地震の場合は自分の病棟の安全、被害の確認の後、他病棟の応援に出向いてください。地震はどんなに長くても1分程度であり、揺れが収まってから行動を起こし、火の注意・確認、ドアの解放等避難路の確保をしてください。地震を体験していただきましたが、訓練と解っているから落ち着いて行動できますが、実際に地震が起きたときには冷静沈着な行動を心がけてください。



メンタルヘルス (第6回) -脳と心の対話-

私 : 松島 嘉彦という人格

ポン : 彼の脳

私 : ポンちゃん! 元気ですか? いつもお世話になって感謝しています。君が元気でいてくれないと僕は困ったことになるんですよ。体は動かないし考えることも出来なくなっちゃう。それどころかですよ、僕が何者であるかも分からなくなっちゃうんですから。

ポン : まあ、今のところは特別悪いところはないけどね。私だってもう大分な年だからね、いつどんな故障がでるか分かりゃあしないよ。記憶力も大分あやしくなっているし。

私 : ポンちゃんと僕とは誕生日が同じだからおつきあいしてそろそろ64年になるかねえ。

ポン : そういうこと。ところであなたはどうして僕のことを気安くポンちゃんと呼ぶんだい?

私 : ポンちゃんは、僕の一番の友達だし、それに生まれてから一緒に育ってきたからね。かわいくてしょうがないんだよ。本当だよ。僕のことを一番分かってくれているのもポンちゃんだし。ポンというのはあだ名だよ。ポンはフランス語で「橋」という意味。僕と外界とをつなぐ大切な橋。それとまあ、ポンちゃんの能力はこういっちゃああなたが平凡だよ。それで凡(ポン)。知能テストではたしか100ちょっとだった。

ポン : そういうことか。まあそうだな。知能指数は100あればいいんだろう? たくさんあっても使い切れないよ。ないと困るけど。お金みたいなもんだな。ありすぎるとろくなこたあないよ。人生を誤るよ。

私 : そういうこと。僕も誘惑に弱いからそれくらいでちょうどいいんだよ。

ポン : そういってもらえるとこっちも気が楽になるよ。僕だって一生懸命あなたのために頑張っているんだからね。無理させないでよ。無理だと感じたら「疲れた」というサインを出すからね。いいね、そう感じたら僕たちを休ませてくださいよ。きっとだよ。約束するね?

私 : 分かった。休養するということだな。大体、日本人は働き過ぎだよ。聞くところによると、ヨーロッパの人は夏はパカンス休暇をとるそうだよ。フランスで3ヶ月、ドイツで1ヶ月だそうだ。それに、残業はしないそうだし、クリスマスや復活祭の前後1週間は休みだそうだから過労死とは無縁だな。それに彼らは生きる目的がはっきりしているよ。人生、これを楽しむにしかずと。働くだけが人生じゃないってこと。

ポン : 日本でもそうしてもらおうとありがたいね。聞くところによると、日本の労働者は働き過ぎて、うつ病やストレス病になる人が多いらしいけど、やっぱり無理はいけないよ。1ヶ月の残業時間が80時間を超えると過労死する危険が高くなるというから、あんたも無理しちゃあいけないよ! とばかりを受けるのは家族やあんたを支えてる僕たち体なんだからね。せめて有給休暇くらいはきちんととって僕たちをゆっくり休ませてくださいな。決断するのはあなたなんです。嘉彦さん!

(つづく)



精神科医長 松島 嘉彦

外来診療科担当医表

独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター

平成20年8月1日現在

			月	火	水	木	金
内科			松本		松本	松本	松本
呼吸器内科			山本		山本		
精	初診	診察室6	坂本	土井	助川	松島	高田
		診察室7	林	池成	池成/岡田	土井/岡田	林
神	再診	診察室1	高田	松島	土井	高田	柏木
		診察室2	松島	坂本	川口	助川	土井
		診察室3	池成	林	林	池成	坂本
		診察室7	川口				池成
		診察室8					岡田
神経内科		1	後藤	岡田	井上	金藤	土居
		2	下田	下田	金藤	土居	井上
		3		小西		小西	北恵
小児科		1	中野	小松	赤星	中野	赤星
外科				湯村		湯村	
専門外来	睡眠外来	精神科5	坂本		高田		
	神経内科(予約制)		失語症 パーキンソン病	高次脳機能障害	失語症 パーキンソン病	嚥下障害 失語症	失語症 パーキンソン病
			下田	下田	井上	金藤	下田
		小児科(予約制)	発達外来 小枝	発達外来 赤星	発達外来 中野 予防接種 15:00~16:00		

- ◆所在地 〒689-0203 鳥取県鳥取市三津876番地
- ◆電話 0857-59-1111
- ◆診療受付時間 午前8時30分～午前11時30分
- ◆専門外来診療時間 午後1時30分～午後3時00分 (睡眠外来の受付時間は午前中です)
- ◆休診日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始、ただし、急患の方はこの限りではありません。
- ◆ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~nistori/>

看護師募集活動に参加して 3病棟 関山宏美



6/29(日) 広島会場へ行ってきました。午前中のプレゼンでは、会場に訪れた学生さん130名の前で看護部長、副看護部長を筆頭に傘踊りを披露しました。持ち時間5分という短い時間ではありましたが、他の病院にはない、鳥取と鳥取医療センターの魅力が十分伝えられたのではないかと参加メンバー全員で自己満足!?しています。

午後からのブース説明会では、12名の学生さんが当院のブースに足を運んでくださいました。私たちの説明を一生懸命聞いて帰られた学生さん達、その中の一人でも多くの方が鳥取医療センターに魅力を感じ、近い将来、一緒に働いて下さることを願っています。

